

1 週間の始まりです。月曜日はどうも天気がよくないですね。今にも雨が降りそうな天気です。

39 県で緊急事態宣言が解除され、日常が戻ってきているところもあるようです。しかし東京都はまだ自粛が続いています。にもかかわらず、先週末はこれまでよりいろいろな場所で人出が多くなっていましたようです。

“自粛”とは自らの判断で慎めばよいのであって、誰かに要請されるものではありません。皆さんは自分で判断して、今は不要不急の外出はやめようと思って、家にいるのですよね。この不要不急の外出の自粛が自分のためだけでなく、みんなのためだとわかっているからです。

この自粛の期間、皆さんもいろいろなことを我慢してきました。自粛前と比べてみてください。同じように生活している人はいないでしょう。何かしらの我慢をしています。みんな忍耐強くなったのではないのでしょうか。そして自分でいろいろなことを判断することもできるようになったのではないのでしょうか。

この臨時休業中にできるようになったこと、変わったこと、自分で考えてみてください。きっとあるはずです。

明日はまた課題回収・配布日です。また会えることを楽しみにしています。

何か困ったことがあれば、先生に話してみてください。

七中生へのメッセージ（5月18日）

最近始めた「数独」は、結構楽しくて時間を取り過ぎないように気を付けています。

今は外食ができないのでまっぴら家で料理をしています。この頃気づいたのですが、今まで経験したことがないくらいのスピードでみりんと料理酒が、減っていきます。恥ずかしいことですが、今までになく、それらを使う料理をしているのかもしれませんが。煮こむ料理が増えました。（以前は、塩コショウして焼くとかが多かったので…）

おすすめの本は、『ビブリア古書堂の事件手帖』です。鎌倉が舞台のお話ですが、本にまつわる謎解きが楽しいです。七中の図書室にもあるので、また貸し出しが始まったら、ぜひ読んでみてください。この本を読んでいると、登場する人々の苦しみや悲しみが伝わります。でも、それ以上にそれを乗り越えていく、克服していく人の姿に力をもらえるそんな魅力があると思います。こんな風に書きましたが、単純に楽しめるお話です。

前回と同じになりますが、手洗い、うがいが大事です。学校でみなさんと会える日を楽しみにしています。

2年（野平 みどり）

今回はオススメの本ということで…読んだことがある人もいると思いますが、夢枕獏さんが書いた「陰陽師」です。シリーズもので何冊もあります。この原作をもとに、岡野玲子さんがマンガにもしています。七中の図書室にもありますよ。（登校が始まったら探してみてください。）

私は、原作を読んで（もちろんマンガも読んでいますが…）平安時代の生活にとっても興味をもち、生活様式や服装、文化、貴族達の階級・位など調べました。そうしてもう一度本を読むと、その世界がさらに広がりが増し、とても面白く読むことができました。

平安時代の生活様式や服装は、歴史の資料集や国語の便覧などでも十分調べられます。授業で資料を活用するページは少しですが、隅々まで見ると面白いですよ。1冊の本から、世界が広がり視野も広がりますね。

もう少し休校が続き不自由な生活かもしれませんが、平安時代の貴族のようにおおらかで気持ちにゆとりをもって過ごしたいですね。

1～3年 理科担当